

平成30年度 決算

一般会計 歳入 345億 478万円 歳出 342億4,161万円



問合せ先 行財政管理課 ☎072-433-7266

一般会計

%は、一般会計予算に占める割合を示しています。()内は、1月1日現在の住民基本台帳登録者数86,974人で割った市民1人当たりの金額です。

歳入

歳出(目的別)

市税 115億4,495万円 33.5%
国庫支出金 56億502万円 16.2%
地方交付税 49億5,680万円 14.4%
府支出金 25億17万円 7.2%
市債 21億5,475万円 6.2%
譲与税・各種交付金 19億8,262万円 5.7%
繰入金 9億1,792万円 2.7%
使用料・手数料、分担金・負担金 6億4,381万円 1.9%
その他 41億9,874万円 12.2%

民生費 147億4,604万円 43.1%
総務費 47億3,203万円 13.8%
衛生費 33億6,489万円 9.8%
教育費 24億6,661万円 7.2%
公債費 24億2,405万円 7.1%
土木費 23億4,106万円 6.8%
消防費 9億1,507万円 2.7%
議会費 2億6,037万円 0.8%
その他 29億9,149万円 8.7%

平成30年度決算は、一般会計の形式収支(歳入歳出差引額)が2億6,317万円、実質収支(形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を控除した額)が7,670万円となり、昨年度に引き続き黒字決算となるなど、特別会計(5会計)も含めすべて黒字決算になりました。

会計別決算額

金額は端数調整を行い万円単位で表示

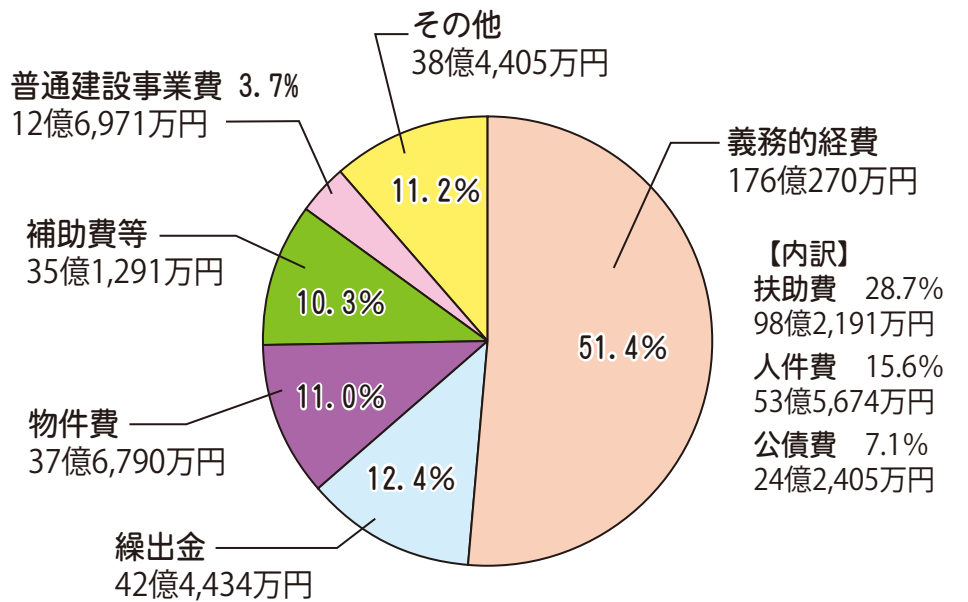
Table with 6 columns: 会計名, 歳入額, 歳出額, 形式収支額(A), 翌年度繰越財源(B), 実質収支額(A)-(B). Rows include 一般会計, 特別会計, and 内訳 (国民健康保険事業, 下水道, 財産区, 介護保険事業, 後期高齢者医療事業).

平成30年度末 市債現在高

Table with 2 columns: 一般会計 (273億956万円), 下水道特別会計 (218億1700万円)

- 一般会計：市税・地方交付税を主な財源として、教育・福祉・道路・公園など市が行う事務・事業を経理する中心的会計。
特別会計：特定の事業を行う場合、または一般会計と区分して経理する必要がある場合に設置する会計。
公営企業：地方公営企業法の適用を受け、原則としてその事業経費のすべてを事業収入で賄い、独立採算制をとる会計。

歳出(性質別)



扶助費 生活保護費や児童手当など福祉の法令に基づき支給される経費
公債費 国・府・銀行などから借り入れた市債の返済金と利息
物件費 賃金・旅費・委託料の消費・消耗品費
補助費等 団体の経費の負担
金・補助金・報償費・補償金などの経費
普通建設事業費 橋・学校などの建設・取
得事業の経費

財政用語の説明



※歳入と歳出は、金額の大きい順に表示しています